

総合演習

大学図書館の活用と情報探索 第10回 2017年6月13日

総合演習の目的

- ▶ これまでの授業や演習で学習した内容、修得した技術を総動員して、テーマを設定し、発表とレポート執筆を行う。
- ▶ 発表→グループ
- ▶ レポート→自分の言葉で2000字

第13-14回のグループ発表に向けて

- 「21世紀の重要な問題」に関して、グループでテーマを設定し、先行研究レビューを行ってまいります。
- 発表は7/4と7/11です。出席できない日がある場合は、担当者にお知らせください。
- 6/13から7/11までの5回は、連続した授業です。
- グループ発表に向け、前半3回はグループワークの時間を多く設けます。
- グループで集まる貴重な機会ですので、できるだけ欠席しないようにしてください。

今後のスケジュール

日時・集合場所	内容
第10回：6/13 (火) @メディアセンター303	①発表方法やレポートの書き方についての講義 ②課題・グループワーク・RefWorksの登録方法の説明 ③グループワークでキーワードマップの作成
第11回：6/20 (火) @メディアセンター303	①RefWorksの講義 ②課題の説明 ③グループで発表内容の掘り下げ ④各グループの発表予告(各1分)
第12回：6/27 (火) @附属図書館 1F ラーニングcommons	①発表資料・最終レポート・アンケートの説明 ②グループで発表準備
第13-14回：7/4・7/11(火) @附属図書館 3F 共同研究室5	グループ発表

本日の予定

1. グループ発表に向けて
2. 著作権・引用・参考文献リストについて
3. グループワーク

これまでの振り返り

大学図書館の魅力と研究活動

- 大学図書館の役割の変化
- 研究と学術資料の今後（オープンアクセス）

学術情報の性質

資料調査の入り口

- 書誌情報の読み方とKULINEの活用
- レポート執筆の流れ
- 参考資料を活用した資料収集の方法

学術情報管理の仕組み

情報の組織化と検索

- 情報の組織化と分類体系：フォークソノミー、図書館分類など
- インデックスと検索の仕組み

情報源・ツール

インターネット検索・DB活用

- インターネット検索の際の落とし穴
- 論文データベース・新聞データベースの活用
- 学術情報生産のサイクル・評価の方法

グループ発表に向けて

グループ発表の内容

1. 「21世紀の重要な問題」からグループで選んだ文献調査のテーマを提示・説明
2. テーマに関係した文献の内容を網羅的に収集し、選考研究における論点を整理
3. 2の内容を踏まえ、考察を行う

発表時間20分

全員参加

目標！レビュー論文

- ▶ 論文には、大きく分けて研究論文とレビュー論文がある
- ▶ レビュー論文とは、特定のテーマに関するこれまでの先行研究を整理し、そのテーマに関する課題を提示している論文

一般的なレビュー論文の構造

1. イントロダクション
 - ▶ 研究の背景
 - ▶ 問い（著者の問題意識）
2. 研究方法
 - ▶ 先行研究を収集する範囲や方法
3. 先行研究整理（レビュー）
 - ▶ 独自の視点により先行研究の整理
4. 考察
 - ▶ 先行研究で言及されている（されていない）内容の考察
5. 参考文献リスト

発表のポイント1

1. 関連資料を十分に網羅し、読み込んでいるか？
2. 関連資料のポイントを的確にとらえているか、他の人に分かりやすく伝えられているか
3. 各グループならではの着眼点で、先行研究を考察できているか

発表のポイント2

1. 分かりやすい資料の作成
 - フォント：20PT以上 24PT 16PT
 - 図の利用
 - 目次の挿入
2. 魅力的なプレゼン
 - 導入
 - アイコンタクト
 - 声の大きさ

発表のポイント3

- 引用と文献リストの書式をきちっとおさえる
⇒引用：文末註
参考文献リスト：SIST_02 形式

☆ 科学技術情報流通技術基準 参考文献の書き方
http://sti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm
 の「5. 資料種類別の記述例」を参照する
 ☆ 著者名の五十音順に作成、ウェブサイトは別項にまとめる

グループワーク1

各自が課題で読んできたレビュー論文について、グループで情報共有をし、ワークシートに記入してください。

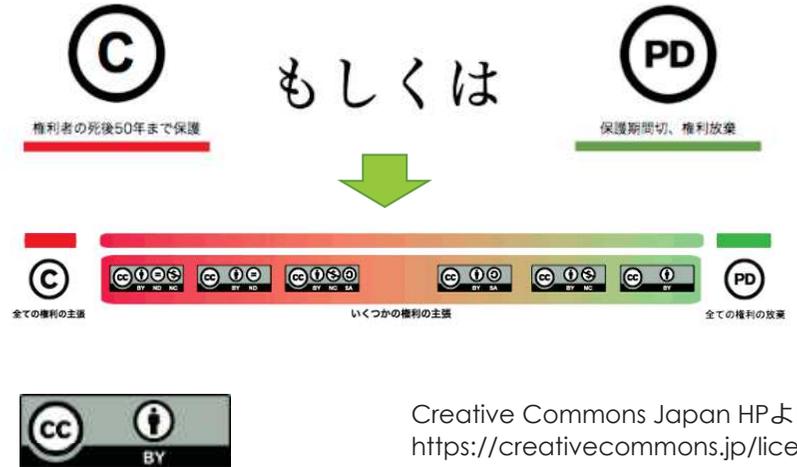
著作権・引用・
参照

いつもより話題になった式辞！？

京都大学
HP
http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/president/2017/1704_07_1.html

著作権クイズ

クリエイティブ・コモンズ



「引用」「参照」の意味

- 自分の意見や発想の根拠を明示する
 - 先人達による学問の積み重ねの中に、何を付け加えたかを明らかにすることで、自分の発見の位置づけを明らかにする
 - 今までの見解に反論する場合でも、「反論対象」の根拠を明示する
- 自分の意見と他人の意見とを区別する
 - 「盗作」と見なされる恐れがある⇒「著作権」侵害
- 研究方法についても、引用・参照が求められる場合がある

引用・参照の意義とルール

「引用」「参照」のルールやポイント1

- 指定されたフォーマットで引用・参照、および参考文献リストを作成する（今回SIST_02形式）
- 「自分の文章」が主で「引用部分」が従であることがはっきりわかるように書かれている
- 引用部分の明確化、被引用文献（出典）の明示
 - ✓ 「 」や “ ” でくくる
 - ✓ 長い文章の引用は「段下げ」（インデント）

「引用」「参照」のルールやポイント2

- 参照の例：
 - 本文中で参照した部分を、文献リストや註（脚注・文末註）で明示

はじめに

日本人の多くは伝統的な糖・塩・アミノ酸の組み合わせで、アミノ酸の味覚は日本人のみならず世界中で見られる。中国では醤油、肉類、野菜類などアミノ酸が豊富であることが多く、肉類を使用したアミノ酸はアミノ酸の代謝物であるアミノ酸（1）

文 献

1) 二宮くみ子：うま味の世界、うま味の文化・UMAMIの科学（山口静子監修）丸善、東京 pp.35-64（1999）

出典：伏木亨.うま味とにんじんのインターラクシオン：鯉ダシのおいしさを例に. 日本味と匂学会誌. 2009, vol.16, no. 2, p.185-188.

「引用」「参照」のルールやポイント3

さて、市民社会形成に関わる新中間層以外の担い手を構想する議論もある。オルターナティブな発展論が現地の知識人や宗教者、NGO関係者から出され、先進国の研究者も共感を示した（西川編,2001; 西川・野田編,2001; 駒井,2001）。社会開発論は国際援助機関から

参考文献

西井涼子,2001,『死をめぐる実践宗教』世界思想社。
 西川潤編,2001,『アジアの内発的発展』藤原書店。
 西川潤・野田真理編,2001,『仏教・開発・NGO—タイ開発僧に学ぶ共生の智慧』新評論。
 日本村落社会学会編,2004,『東アジア農村の兼業化—その持続性への展望』農文協。

出典：櫻井義秀. 分野別研究動向（東南アジア）グローバリゼーションと地域社会変動. 社会学評論. 2008, vol. 57, no. 1, p. 204-217.

図・表の引用方法

(1) 現在のASEAN (2014年)

加盟国 (10カ国: ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)			
面積	433万km ²	日本(36万km ²)の12倍	世界(1億2,974万km ²)の3.3%
人口	6億2,329万人	日本(1億2,713万人)の4.9倍	世界(72億6,065万人)の8.6%
GDP	2兆4,780億米ドル	日本(4兆6,015億米ドル)の53.9%	世界(77兆8,688億米ドル)の3.2%
1人当たりGDP	3,976米ドル	日本(36,194米ドル)の11.0%	世界平均(10,725米ドル)の37.1%
貿易(輸出+輸入)	2兆5,518億米ドル	日本(1兆5,024億米ドル)の1.7倍	世界(36兆6,819億米ドル)の7.0%

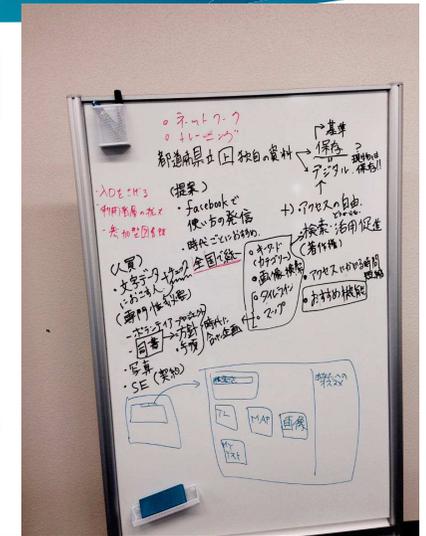
(出所) 面積、人口、GDP: World Bank, World Development Indicators database
 貿易: IMF, Direction of Trade Statistics
 (注) 1人当たりGDPは、名目GDPを人口で除いて当課で試算

出典と加工方法を明記

出典: ”目で見るASEAN—ASEAN経済統計基礎資料—“外務省アジア大洋州局地域政策課. <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/asean/>, (accessed:2016-06-07)

ブレインストーミングへ向けて！

ブレインストーミングが成功の鍵



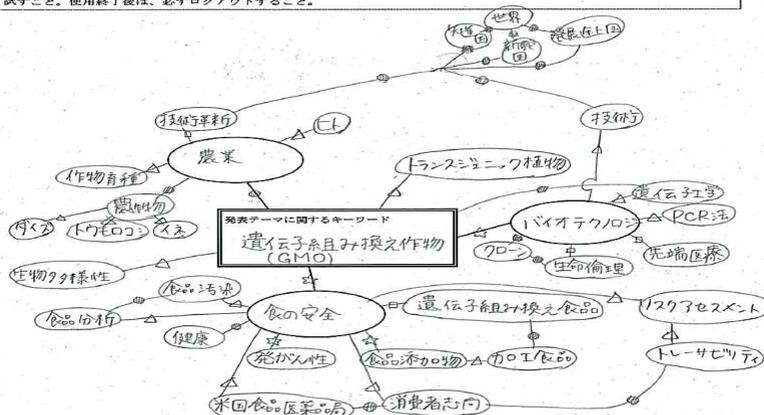
キーワードマップの作成

基礎知識の確認 (百科事典)

キーワードの出典 (キーワードを縮ぶ線に印をつけ、何を参考にしたのか記録しておくこと)

◎ : NDLサーチ △ : JST シソーラス (マップ) □ : 新書マップ
 × : JapanKnowledge Lib* ☆ : Webcat Plus ● : 自分の連想
 ▲ : ■ : ★ :

*JapanKnowledge Lib は同時アクセス制限あり。ログインできない場合は、しばらく時間をおいてから再度ログインを試すこと。使用終了後は、必ずログアウトすること。



JapanKnowledgeへのアクセス(1)

http://kuline.kulib.kyoto-u.ac.jp/

▶ KULINEの左側メニュー「図書・雑誌・論文を探す」

→データベース

(方法1) 「資料のタイプで探す」から「辞書・事典」→ JapanKnowledge Lib

(方法2) Jをクリック → JapanKnowledge Lib

JapanKnowledge Lib トップページ

https://japanknowledge.com/library/

『日本大百科全書』における「大気汚染」の項目より

https://japanknowledge.com/lib/display/?lid=1001000141431

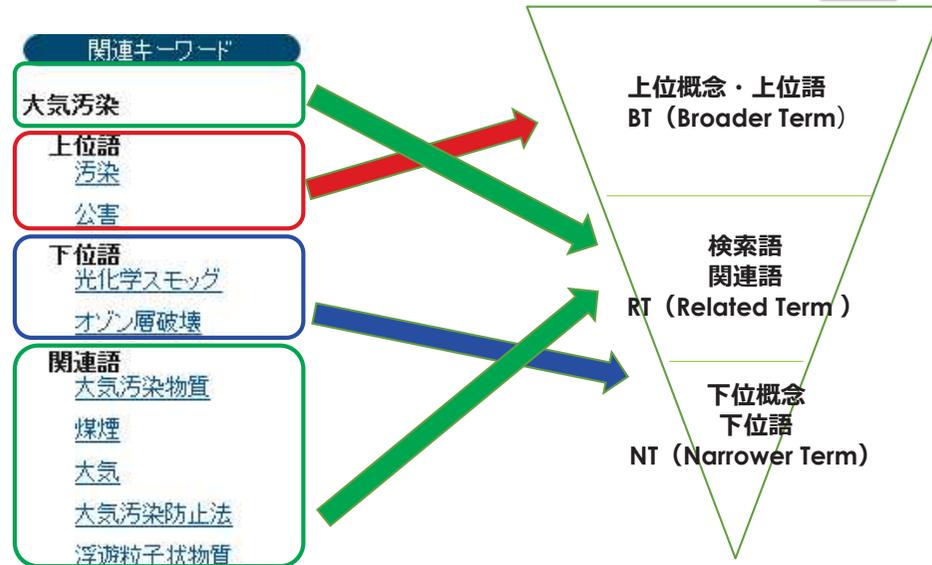
概念の整理と構造化

NDLサーチの活用 (1)

<http://iss.ndl.go.jp/>

関連キーワードの階層構造

NDLサーチの活用 (2)



JSTシソーラスマップの活用

<http://thesaurus-map.jst.go.jp/jisho/full/f/index.html>

Webcat Plus 連想検索の活用 (1)

<http://webcatplus.nii.ac.jp/>

文献情報

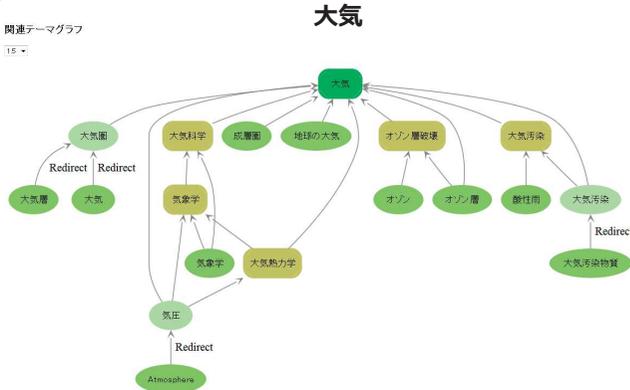
関連キーワードの階層化

Webcat Plus 連想検索の活用 (2)

連想ワードで絞り込み

- 大気
 - 大気
 - オゾン
 - 大気層
 - 成層圏
 - 気象学
 - 酸性雨
 - オゾン層
 - 大気汚染
 - 地球の大気
 - 大気汚染物質
 - Atmosphere
- 公害
 - 公害
 - 水質汚濁
 - 海洋汚染
- 理学
 - 気象
 - 流体
 - 化学物質

関連テーマグラフ (15)



新書マップの活用 (2)

新書マップの活用 (1) <http://shinshomap.info/search.php>

外側に上位概念
内側に関連語

関連テーマ/
キーワードを切り替えて表示、絞り込み

関連テーマをクリックすれば、さらに展開

グループ課題ですが...

- ▶ 調べものとプレゼン成功の最大のこつは、自分たちが面白いと思えるテーマを選び、それをいかに伝えるか、智慧をしぼりあうこと。

Enjoy!

グループワーク・課題について

大学図書館の活用と
情報探索
第10回
2017/6/13 (火)

1

下図の通り、班に分かれて着席してください！

スクリーン



● グループワークの流れ

1. キーワードマップの中央のキーワードを決める
2. キーワードマップを作成する
3. キーワードが入った発表テーマ案を考える
4. 授業終了時にキーワードマップを提出する

2

発表テーマ (6/6時点)

- 1班. うつ病
- 2班. 人工知能が社会に与える影響
- 3班. 人口爆発と資源問題
- 4班. 宗教紛争 (イスラーム)
- 5班. 原子力が人体に及ぼす影響
- 6班. 細胞-臓器移植とクローン-

3

発表テーマの設定

- ◆ テーマは漠然としすぎないように注意する
× 食の安全について
○ 遺伝子組み換え食品の安全評価と選択 (過去の例)
- ◆ アプローチする分野や研究対象を具体的に
(過去の例)
アメリカ優生学の歴史から現代の生殖医療の在り方を問う
学力格差—現状と日本や海外での取り組みについて—

4

RefWorksの登録方法について

9

文献管理ツールRefWorksの登録方法 アカウントの作成

来週までに
各自行うこと!

1. 京都大学図書館機構サイトやKULINE等からアクセス
2. 「その他の資格情報を使用してログインする」>「自分の機関の資格情報 (Shibboleth)」から「Kyoto University」を選択
3. ECS-IDとパスワードを入力して「ログイン」をクリック

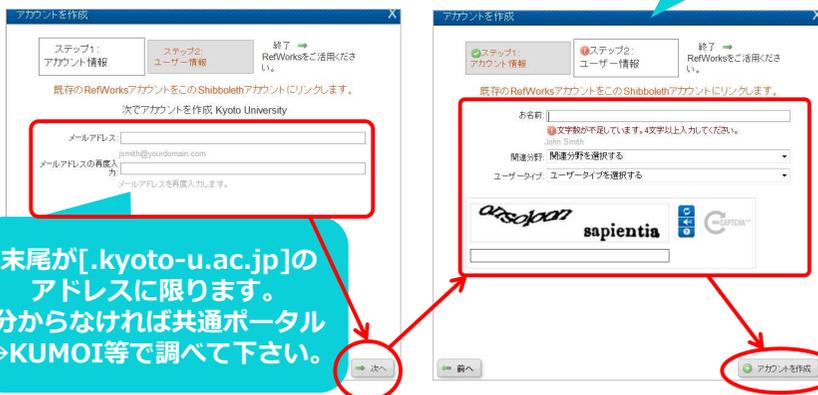


10

文献管理ツールRefWorksの登録方法 アカウントの作成

4. メールアドレスを入力し、「次へ」をクリック
5. お名前等を入力し、「アカウント作成」をクリック

お名前：
お名前をご記入下さい
関連分野：
ご所属の学部等を選択
ユーザータイプ：
「学部生」等を選択



11

次回授業

- ◆ 日時：2017/6/20 (火) 4限
- ◆ 場所：メディアセンター303
- ◆ 内容：RefWorks講義+グループワーク
+発表内容1分間予告
- ◆ 持ち物：課題の図書、論文、新聞
- ◆ 事前準備：RefWorksのアカウント作成

12

下図の通り、班に分かれて着席してください！

スクリーン



- 授業が始まるまでに
- 1. パソコンを起動してください
- 2. Refworksのアカウント登録が済んでいない方は、補助者にお申し出ください

RefWorksの使い方

大学図書館の活用と
情報探索
第11回
2017/6/20 (火)

2

はじめに

- 論文・レポート等には、一定の記述方法で引用/参考文献を掲載

例：「SIST 02 参照文献の書き方科学技術情報流通技術基準」

稲垣 恭子. 財界人・文化人の「師弟関係」
著者名 論文タイトル

京都大学大学院教育学研究科紀要. 2013,
雑誌タイトル 出版年

vol. 59, p. 1-23.

巻 掲載ページ数

3

はじめに

- なぜ引用文献/参考文献が必要か？

- 自身の論文の新規性、独創性、信頼性の明確化
- 先行する著者に対する敬意
- 出典の明示
- 読者に対する情報提供

自分と他人の意見を区別 /
論拠を明示

研究成果は、先行研究
の上に発展させたもの

☞ 「参考文献の役割と書き方」

http://sti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf

4

文献管理ツールとは

- 論文執筆等に必要の文献の情報を蓄積・管理
- 参考文献リストを簡単に作成

日頃の文献収集で！

論文執筆時に！

RefWorksは…

- ウェブ上で使える文献管理ツール
- 利用には、ユーザ登録が必要
- 他の研究者/学生との情報共有や公開も可能

5

RefWorks活用の 3 Steps



6

RefWorks へログイン (1)

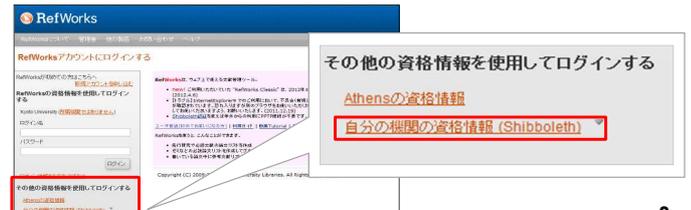
1. KULINEから文献管理(Ref Works)をクリック



7

RefWorksへログイン (2)

2. 「自分の機関の資格情報(Shibboleth)」から「Kyoto University」を選択
3. ECS-IDとパスワードを入力してログイン



8

課題 5

KULINEから取り込む(1)

検索結果一覧画面でインポートしたい資料に☑をつけ「文献管理」ボタンをクリックしRefWorksを選択



10

1. RefWorksに取り込む

9

課題 5

KULINEから取り込む(2)

書誌詳細画面で「文献管理」をクリックしRefWorksを選択



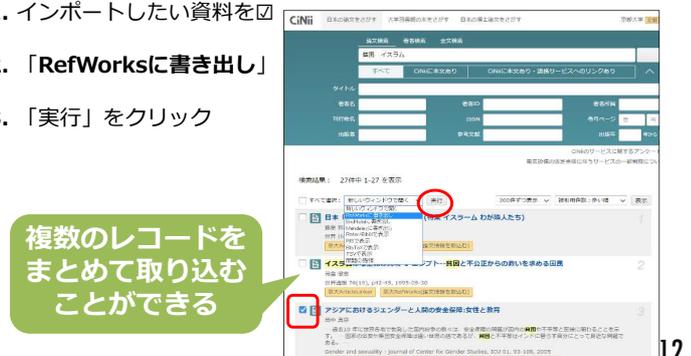
11

https://ci.nii.ac.jp/search

課題 7

CiNii Articles から取り込む (1)

1. インポートしたい資料を☑
2. 「RefWorksに書き出し」
3. 「実行」をクリック



12

課題 7

CiNii Articlesから取り込む (2)

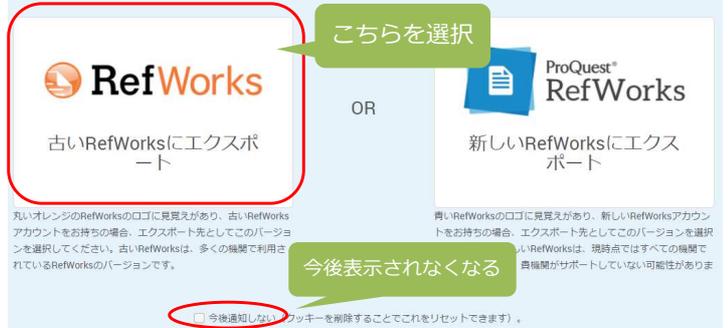
詳細ページから
RefWorksに書き出し



京大RefWorksでは
共著者の情報が
取り込まれない

取り込む時の注意点

どのバージョンのRefWorksをエクスポートしますか？



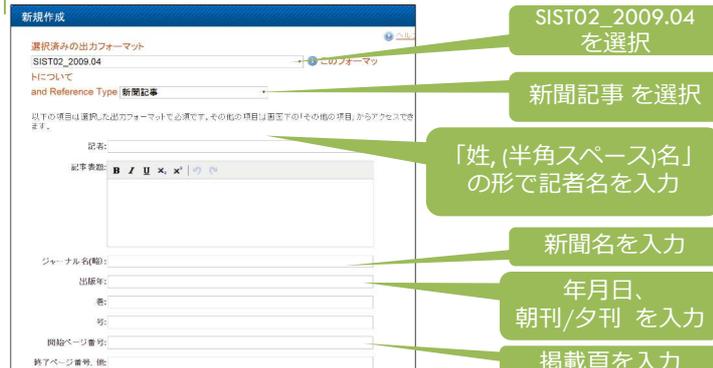
課題 9

RefWorksにデータを作成する(1)



課題 9

RefWorksにデータを作成する(2)



2. フォルダの整理と レコード編集

課題 10

フォルダの整理(1)



フォルダの整理(2)

●レコードをフォルダに追加する

1. レコード一覧で、フォルダに追加するレコードに☑
2.  をクリックし、追加先のフォルダを選択



レコードの編集

1. レコードタブの各レコードの  をクリック
2. 「レコードの編集」画面で「その他の項目」を開けば、コメントや他の項目を設定できる

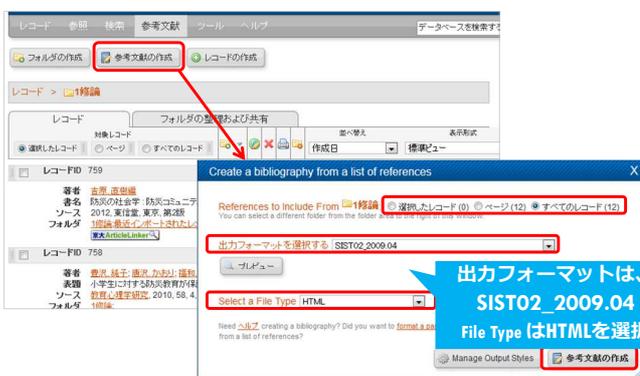


3. RefWorksから出力

参考文献リストの作成 (1)

1. レコードを選択 or 参考文献リストを作成するフォルダを表示
2.  をクリック
3. 「出力フォーマット」を選択
4. ファイル形式を選択
5.  をクリック
6. 作成した参考文献リストをコピーして貼り付ける

参考文献リストの作成 (2)



参考文献リストは著者の名前順

著者の姓の順番で並べる

- 日本語文献：名字のあいうえお順
- 外国語文献：Family name のA to Z 順
- 同じ名字(Family name)：名前(First name)の順
- 同じ著者の文献：発行年が古い順

※注意

RefWorksは、**アルファベット順の並び替えしかできないので、日本語文献については自分で並び替える。**



Webページを参考文献にする場合

例：

科学技術・学術政策局人材政策課."「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に係る質問と回答 (FAQ)". 文部科学省. 2015-03.

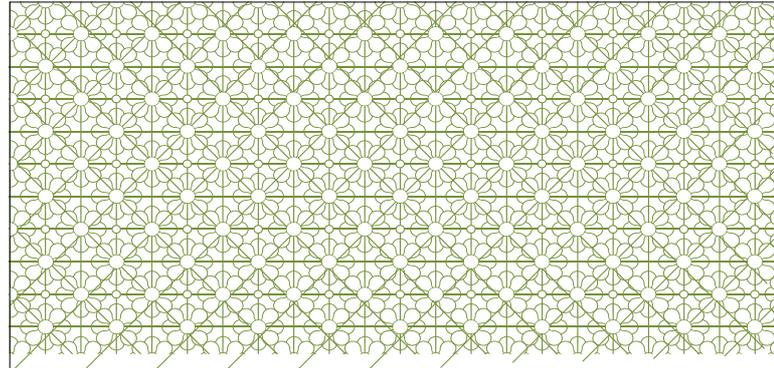
http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1352820.htm, (accessed 2016-06-01).

著者名. "Webページ名". Webサイト名. 更新日付. 入手先, (入手日付).

※注意

Webページのレコードを RefWorks 内に作成しても、**SIST02のフォーマットでは上手く出力できない**ので、適宜整形する。

25



4. RefShareで共有

26

課題 11

RefShareで共有する (1)

●ゼミや研究グループで使用する文献リストや自分の業績リストを公開する時に活用できる

●RefWorksを契約していない人でもアクセスできるURLを生成できるので、誰でも閲覧が可能

27

課題 11

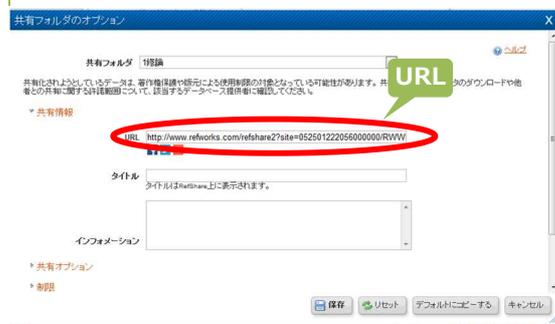
RefShareで共有する (2)



28

課題 11

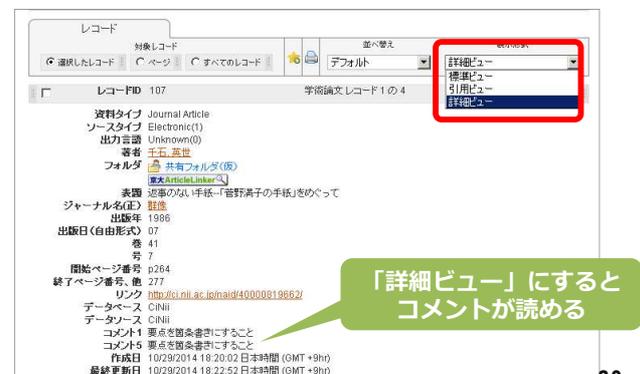
RefShareで共有する (3)



29

課題 11

RefShareで共有する (共有したものをみる)



30

5. その他

31

操作に困ったら...



さらに詳しい使い方は・・・
RefWorks ユーザーガイド(学内限定)
http://www.sunmedia.co.jp/e-port/refworks/pdf/userguide-rwrs20_customize.pdf

32

課題について

33

提出期限：6月27日（火）14:00まで

課題 5～11

1. RefWorksにインポート、コメントを記入
2. RefShareで公開URLを作成
3. **PandaAに公開URLを掲載する**

34

PandaA | コースサイト

授業タブの中から、「大学図書館の活用と情報探索」をクリック

「リソース」ではファイル等のアップロードが可能。今回は、同じ班のメンバーとの情報共有に使用します。

35

PandaA | リソースにアップロード 1

自分の班フォルダの「追加」プルダウンから、「ウェブリンク(URL)を追加

36

課題 11

PandA | リソースにアップロード2

大学図書館の活用と情報検索 <2017前期火心>リソース

ウェブリンク (URL) を追加
好きな数のウェブリンク (URL) を追加します。ウェブリンクのうち一つを必要とする状況に変更する場合は、横の「X」アイコンをクリックします。完了したら、ウェブリンクを今すぐ追加 ボタンを押します。
場所: 大学図書館の活用と情報検索 <2017前期火心>/総合演習1班/

ウェブアドレス (URL)	http://www.refworks.com/refworks2/?site=0525012220560000
ウェブサイト名	[RefShare]0123456789 このアイテムの詳細を追加

他のウェブリンクを追加

電子メール通知

ウェブリンクを今すぐ追加 キャンセル

**ウェブアドレス (URL) : RefShareのURL
ウェブサイト名 : [RefShare]学籍番号_氏名**

37

今日のこの後の予定

- 15:15 - 15:55 グループワーク

15:55 までにスライドを1枚作って、USBに保存

<スライドの作り方>

画面左下Windowsボタン>すべてのプログラム>MicrosoftOffice

>Microsoft PowerPoint

- 15:55 - 16:15 各班1分間発表

作ったスライドを前の画面に表示します

38

スライド例

テーマ【都市と地方の雇用格差について】

- 地方は大都市圏と比べての雇用の場が少ない
- 雇用機会を増やす地方の取り組みを調査する
- 例：観光資源を活かした〇〇市の取り組み

次回予告

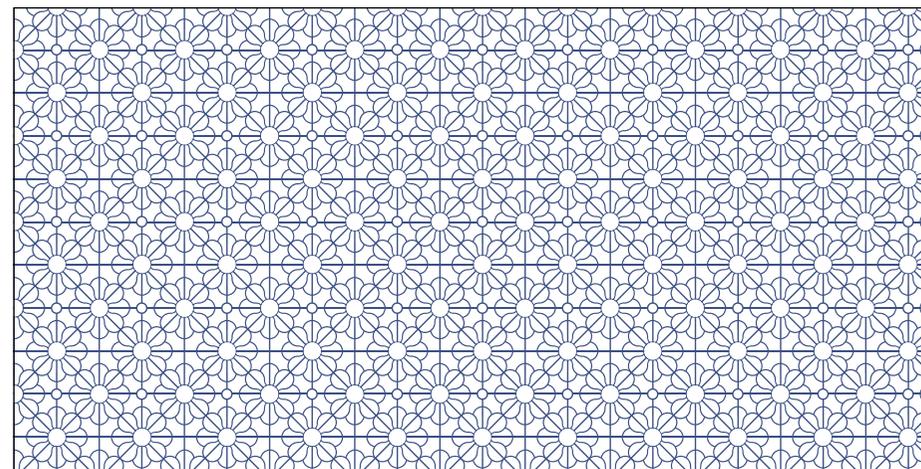
日時：2017年6月27日（火）4限

場所：ラーニングコモンズ(附属図書館 1F)

内容：最終課題・アンケートの説明
グループで発表準備

必要な場合はノートPCを持参してください

班でまとまって着席してください



発表資料・最終レポート について

第12回
大学図書館の活用と
情報探索
2017/6/27

2

グループ発表

発表資料について

1.提出物：

発表用スライド

配布資料(スライドのプリントアウト以外の資料がある場合)

※参考文献リストを巻末に掲載すること

2.ファイル名：

○班_発表用スライド.pptx、○班_配布資料.docxなど

※複数ある場合は、発表用スライド（1）のように番号をつけること

3.提出方法：

PandAのリソース内の班フォルダにアップ

3

グループ発表

発表資料について（2）

4.提出期限：

第13回（7/4）発表のチーム

7/3（月）正午まで

第14回（7/11）発表のチーム

7/10（月）正午まで

4

発表資料について

提出方法

ファイル名は
【○班_発表用スライド.pptx】
【○班_配布資料.docx】など

ファイルをアップロード

リソースを選択

ファイルをアップロード

5

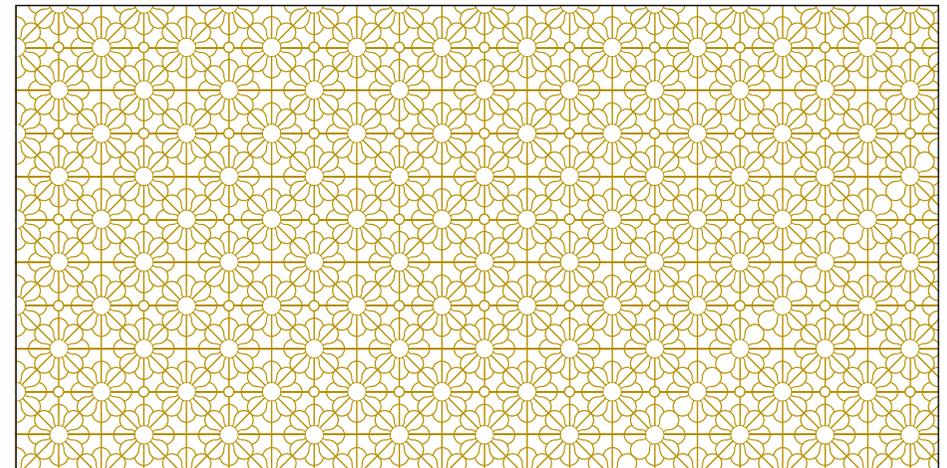
参考文献リストの作成 (1)

1. レコードを選択 or 参考文献リストを作成するフォルダを表示
2. をクリック
3. 「出力フォーマット」を選択
4. File Type(ファイル形式)を選択
5. をクリック
6. 作成した参考文献リストをコピーして貼りつける

参考文献リストの作成 (2)

出力フォーマットは、
SIST02_2009.04
File Type はHTMLを選択

7



最終レポート
アンケート

最終レポートについて

1. レポート内容

総合演習での発表内容を、各自で*2000字以上のレポートにまとめよ。これまでの授業中に示された、引用の作法や論文の形式に注意して書くこと。*参考文献および注は含めない

2. ファイル名

[最終レポート]〇班_学籍番号_氏名.docx

3. 提出方法

PandAの「課題」ツール(この後のスライドで説明)

4. 提出期限

7/31 (月) 24:00

9

最終レポートについて

5. 注意点

引用と文献リストの書式をきちっとおさえる

⇒引用：文末註

参考文献リスト：SIST_02 形式

☆科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方

http://sti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm

の「5. 資料種類別の記述例」を参照する

☆著者名の五十音順に作成、ウェブサイトは別項にまとめる

10

アンケートについて

1. 注意点

PandAの「課題」ツールにある【ひな形】をダウンロードして答えること。フォローアップアンケートのためメールアドレスを記入してください。

2. ファイル名

[アンケート].docx

3. 提出方法

PandAの「課題」ツール

4. 提出期限

7/31 (月) 24:00

11

最終レポート・アンケートの 提出方法

PandAの「課題」ツールを利用して提出

The screenshot shows the PandA web interface. At the top, there is a navigation bar with 'PandA' and 'マイワークスペース'. Below that, there are several tabs and buttons. A blue callout bubble points to the '授業を選択' (Select Course) button. In the left sidebar, there is a list of tools: 'ホーム', 'スケジュール', 'お知らせ', 'リソース', '課題', '成績簿', '提出箱', and 'メールアーカイブ'. A red box highlights the '課題' button, and a red callout bubble points to it with the text '課題を選択'.

12

最終レポート・アンケートの 提出方法

PandAの「課題」ツールを利用して提出

課題説明
1,2とも提出期限は7/31(月)24:00です。
期限は厳守してください。

注意!!
最終レポート・アンケート両方を添付してください

1. 総合演習の発表内容を、各自で2000字以上のレポートにまとめてください
*Wordで作成し、ファイル名は「最終レポート」-班_学籍番号_氏名.docxとすること。
*本課題ページに提出すること。
*他の受講生からの発表評価シートや、授業中の質疑応答を踏まえてまとめること。
*授業中に示された引用の作法等、論文の形式に則って書くこと。
*文字数に参考文庫および注は含めません。

2. 授業アンケートにお答えください
*添付の「20170731_hinagata.docx」をダウンロードし、ファイル名は「アンケート」.docxとすること。
*本課題ページに提出すること。
*本年度にフォローアップアンケートを送付する
*本アンケートは成績とは一切関係ありません

提出
この課題は添付文書による提出だけが許可されています。

添付
添付はありません。

次の課題の追加リソース:
20170731_hinagata.docx (61 KB, 2017/07/31)

提出

または、ワークスペースまたはリイトからファイルを選択します。

提出をクリック

最終レポート・アンケートに ついて

課題の受取完了後、「返却済」「チェックマーク付」

PandA

マイワークスペース ▼ 学術情報リテラー入門

スケジュール

お知らせ

リソース

課題

提出箱

メールアーカイブ

サイト情報

学術情報リテラー

最終レポート **返却済み**

タイトル 最終レポート

学生 京大太郎

提出日時 2014/11/25 9:40

成績 **チェックマーク付**

課題内容

提出後、一週間たっても「返却済み」「チェックマーク付」になっていなければ、ensyu660@mail2.adm.kyoto-u.ac.jpにお問合せください。

グループで発表準備を進めてください。